

創業者の精神に基づき、シャープならではの価値の創造を目指す

コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を制定

シャープは、創業記念日（9月15日）に先立ち、新コーポレートスローガンとして、「ひとの願いの、半歩先。」を制定しました。

ひとの願いの、半歩先。

SHARP

当社は、本年5月12日に公表した中期経営計画（2025～2027年度）において、創業者 早川徳次の精神を受け継ぐ「経営理念・経営信条」に立ち返り、当社が目指す方向性を決めました（図1参照）。

このたび制定したコーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」は、その当社が目指す方向性に基づき、すべてのステークホルダーにお届けする「シャープならではの価値」を言葉として表現したものです。



具体的には、「誠意をもって人々の日常に向き合い、日々の困りごとや課題の中から“ひとの願い”を見出し、その願いに対して、創意をもってほんの少し先回りすることで、驚きと喜びをもたらす新たな体験を届けたい」という思いを込めています。また、「半歩先」という言葉には、「遠すぎず近すぎず、人々にそっと寄り添う“ちょうどいい距離感”」を目指す当社の姿勢も表現されています。あわせて本スローガンに込めた思いを、ステートメントとして明文化しました。これらをコーポレートブランディングの核として、本日放映を開始するテレビコマーシャル（※1）を皮切りに、積極的に展開してまいります。

当社は、本スローガンのもと、人々の「暮らす」と「働く」において、独創的なモノやサービスを次々と生み出すだけでなく、それらを通じて“新たな文化”を創造する企業を目指してまいります。

※1 「東京2025世界陸上競技選手権大会」の関連番組および中継番組にて放映の、ドラム式洗濯乾燥機、スマートフォンおよびエネルギーソリューションのテレビコマーシャルです。

ひとの願いの、半歩先。

■ ステートメント

特別な一日ではない。

シャープは、ふつうの一日を見つめています。

なぜならふつうの一日こそが、その人の人生になる。

名もなき日々の中にこそ、人々のすなおな感情、胸に仕舞っていた思い、
夢や希望がたくさん詰まっていると思うからです。

ひとの願いをベースにしながら、ちょっとだけ驚きのあるものを。

意表をつくような先回りを。でも、あくまでも、ちょっとだけ。

言い換えるなら「半歩先」。

それは、小さな声がちゃんと聞こえる距離のこと。

何かがあれば手を握ることのできる、そんな立ち位置のこと。

思えば、朝起きてから夜寝るまでの、あらゆる時間に

寄りそっているシャープ。だからこそ、あなたの日常のすべてを、

半歩ずつ、しっかり未来へお連れします。

誰ひとり、取り残すことなく。